

# 若桐

**発行所**  
 業内 235の2  
 町 唐津商  
 石 唐津校  
 元 立学窓  
 市 唐津校  
 津 唐津校  
 唐 唐津校  
 津 唐津校  
 佐 唐津校  
 高 唐津校

若桐同窓会  
 第44号  
 令和6年9月1日発行  
 印刷/株式会社三光

## 不思議な縁

若桐同窓会会長  
毛利一幸



若桐同窓会の皆さん如何  
 お過ごしでしょうか。昨年の  
 本部若桐同窓会総会は、コ  
 ロナウイルス感染症が五類  
 に変更されたことにより、従  
 前の開催を計画したものの、  
 参加者が少ないのではない  
 かと心配しておりましたが、  
 担当幹事である二七回卒の  
 金谷篤さんはじめ、多くの  
 同期の方々尽力と歴代担  
 当幹事の皆さんの力強いサ  
 ポートにより、百五十名近い  
 参加者があり盛会の内に幕  
 を閉じることが出来ました。  
 改めて若桐同窓会の経系の  
 強さと同期の皆さんの横系  
 の確かさが印象づけられた  
 総会でした。

今年の若桐同窓会総会は  
 国民スポーツ大会が佐賀県  
 で開催されるため、十一月九  
 日(土曜日)、若桐ゴルフ大  
 会は前日の十一月八日(金曜  
 日)開催となりましたので  
 会員各位奮ってご参加下さ  
 いますようお願い申し上げ  
 ます。

さて、若桐同窓会は東京・  
 大阪・福岡に支部がありま  
 すが、校歌を作詞した柿村  
 重松先生も東京で二松学舎  
 に学び、加納治五郎校長の  
 東京高等師範学校では生涯  
 の師となる服部卯之吉教授  
 のもとで漢学を極め、大阪  
 陸軍幼年学校では孟子の講  
 義において多くの生徒に感  
 銘を与えました。福岡高等  
 学校(現九州大学)に在任中  
 には「本朝文粹注釈」によ  
 り帝国学士院恩賜賞を授賞  
 大々的な授賞記念講演が開  
 催されました。民主主義の  
 現代と異なり、天皇を中心  
 に富国強兵を国是とし、坂  
 の上の雲を追った時代の帝  
 国学士院恩賜賞の授賞は福  
 岡高等学校に大きな足跡を  
 残したばかりでなく、小笠  
 原長生公ほか地元唐津出身

の掛下重次郎(最高裁判事)、  
 曾禰達三(建築家・東京丸  
 の内都市計画、赤坂離宮な  
 どを建築)から祝意が寄せ  
 られ、唐津に帰省してから  
 も大島小太郎、豊田稔、宮  
 島徳太郎等三十余名の有志  
 が柿村先生を自由亭に招い  
 て歓迎祝賀の宴が張られま  
 した。母校校歌は「黎明す  
 でに朝は盈」で始まり、「努  
 力の前途に光ぞみたん」で  
 終わりますが、日の出前か  
 ら刻苦勉励、努力精進を重  
 ねた結果、帝国学士院恩賜  
 賞を授賞した柿村重松先生  
 の人生そのものなのです。

校歌の誕生は唐津商業学  
 校が昭和四年四月から県立  
 への移管を期して「柿村先生  
 以外校歌の歌詞を頼める人  
 はない」として十人町の自宅  
 で病療療養中の柿村先生に  
 お願ひに行くのですが、「もつ  
 と立派な方がいらつしやるの  
 では」と先生は固辞されまし  
 たが、当時商業学校があつた  
 舞鶴公園前から再三に渡つ  
 て柿村先生宅に通われた川  
 添先生の熱意に押し切られ  
 るような形でお引き受け頂  
 きました。その歌詞は、将来  
 ある学生に自らの人生を重  
 ねながら松浦川、虹ノ松原  
 玄界灘など風光明媚なふる  
 さと唐津を誇りつつ、唐津の  
 自然が持つ力強さ、逞しさを  
 巧みに織り込み私たちが  
 叱咤激励する素晴らしい内  
 容のものとなりました。

母校はそれから十年の歳  
 月を経た昭和十四年、柿村

先生の居宅すぐ近くの現在  
 の地に移転したのです。  
 柿村先生は昭和六年七月  
 五十二歳で鬼籍に入られた  
 ので、現在の学校を先生が  
 見ることはなかったのです  
 が、私には母校が作詞者の  
 柿村先生を慕って移転した  
 ように思えるのです。私の  
 学生時代は(昭和四十年頃)  
 学校の西から通う生徒は柿  
 村重松邸の前を通りすぐに  
 右に曲がって大石神社の坂  
 を上り左折して登校してい  
 ましたが、その頃は校歌に対  
 する関心もなく、柿村重松  
 先生が偉大な漢学者であつ  
 たなど知る由もありません。

後年私は、柿村先生が恩  
 師服部卯之吉先生より先に  
 他界したことを知り、文京  
 区にある真言宗護国寺の服  
 部卯之吉先生の墓所に柿村  
 先生の名で献花しました。  
 すぐ近くには東京駅を設計  
 した辰野金吾や曾禰達三を  
 指導したジョサイヤ・コンド  
 ルの墓がありました。唐津の  
 偉人達を育てた文系、理系  
 二人の恩師がすぐ近くで永  
 遠の眠りについていました。

つい先日、新一万円が発券  
 されましたが、裏面は東京  
 駅、唐津人にとっては名譽な  
 ことであります。全国の同窓  
 会員の皆さん、各支部近郊  
 には地元唐津出身の先達が  
 残した「縁の場所」があり  
 ます。折を見て現地に足を  
 運ばれ、故郷唐津に思いを  
 馳せられては如何でしょう  
 か。

### 令和6年度本部若桐同窓会総会のご案内

日時 令和6年11月9日(土)午後5時  
 場所 唐津シーサイドホテル  
 唐津市東唐津4丁目  
 TEL 0955-75-3300

議題 事業報告・決算・予算・事業計画  
 懇親会費 ¥5,000 (総会終了後)  
 年会費 ¥2,000 (未納者のみ)

※準備の都合がありますので、10月15日ま  
 でに、同封のハガキにて出欠のご返事をお願い  
 します。  
 ※総会終了後懇親会を予定しておりますので車  
 はご遠慮ください。  
 ※時節柄、急な中止もあります。お尋ねは、唐  
 津商業高校同窓会事務局にお願いします。  
 佐賀県立唐津商業高等学校若桐同窓会  
 会長 毛利一幸

### 若桐第27回ゴルフ大会のご案内

日時 令和6年11月8日(金)  
 場所 唐津ゴルフ倶楽部  
 時間 10時07分スタート  
 プレイ費 8,200円  
 (セルフ、食事付き、税込み)  
 キャディ付の場合、別途3,575  
 円追加になります。

会費 3,000円  
 (表彰式費用、賞品代など)

表彰式 唐津ゴルフ倶楽部(プレー終  
 了後)優勝・飛賞多数

申込み期日 令和6年10月15日(火)迄  
 実行委員長 吉井 正司

#### 事務局連絡先

〒847-0873 唐津市海岸通 7182-42  
 井上 緑  
 TEL 090-1873-3458  
 ※組み合わせ希望があれば返信はがきにて  
 希望者氏名をご記入ください。  
 ※HDCPはダブルペリア方式で行います。

### 同窓会事務局よりお知らせ 全国同窓会員の皆様へ

若桐同窓会会報「若桐」の全国全大会員への郵送を、同窓会  
 運営費圧迫のため、終身会費及び年会費納入者のみにさせて  
 いただきます。なお、若桐同窓会会報「若桐」の掲載内容に  
 ついては、本校のホームページに掲載しますのでご覧ください。  
 (QRコードで読み取りできます。)





## 『誇り高き、唐津商業高校を目指して』

校長 山下 哲司

若桐同窓会の皆様、令和4年4月に着任して以来、3年目の学校運営を仰せつかりました山下 哲司です。皆様には日頃から物心両面にわたり本校教育活動を支えていただき、心より感謝申し上げます。私事で恐縮ですが、

本校勤務年数が、約30年前の平成5年4月に初任者として6年勤務しました。その後、管理職として勤務した期間を入れ通算、10年を超えました。私の教職人生において一番長く勤務させていただいた学校であり、愛着とともに地域社会の発展に貢献し得る人材育成をしなければという強い思い入れもあります。全日制課程は創立107年目、定時制課程は73年目を迎える本校は、創立以来、19,000名に迫る卒業生が、若桐同窓生として全国各地で御活躍されております。その先輩方が築かれた歴史と伝統を確実に引き継ぎ、地域社会を支え得る学校となるべく、歩みを進めていく所存です。

本校の現状をお知らせします。全日制課程は459名が在籍しております。男女比はほぼ同数で、2年時から商業科3クラス、会計科1クラスに編成して特色を出したビジネス教育を実践しております。進路状況は進学65%、就職35%（令和6年3月卒業生実績）

であり、今後も同じ傾向が予想されています。働くことを自分事として考えられる生徒、「自分のことは自分で決める」ことができる力を育む教育を目指しております。部活動も積極的に取り組んでおります。野球部は、九州地区高等学校野球大会に昨年の秋、今年の春と2季連続で出場し、春の大会では、宮崎県立宮崎商業高等学校に勝利し、ベスト4に進出しました。他の部も、佐賀県高等学校総合体育大会において、女子水泳部が団体3位、女子ソフトテニス部と女子バレーボール部がベスト8進出等、着実に実績を残しております。また、6月に開催された佐賀県高等学校簿記競技大会では、個人の部で優勝、ビジネス計算競技大会での個人の部3位入賞者も含め、3名が全国大会出場権を獲得しました。さらに、7月に開催された佐賀県生徒商業研究発表大会において見事、最優秀賞を獲得しました。これは、第23回を数える同大会において常に佐賀県トップの座に君臨している鳥栖商業高等学校の牙城を崩すことができた快挙です。

登校を経験した生徒も多く入学しておりますが、自らの居場所を見つけ、自らのペースで学びを進めており、商業の検定試験にも貪欲に挑戦し、着実に結果を残しております。

今年4月に入学した1年生が挑んだ令和6年度入試では募集定員160名を上回り、1.14倍の応募者数を得ることができました。このことは、一定の地域社会から必要とされる学校として認めていただいたと認識しております。しかし、今後、児童・生徒数は確実に減少していくと予想され、予断を許さない状況です。私は、赴任当初から諸先輩方が築き上げてこられた誇らしい本校の歴史と伝統を引き継ぎ、ビジネス教育の必要性と有用性を示し、唐津商業高校を存続させる任を命じられていると自覚しております。その道のりは決して簡単ではありませんが、若桐同窓会のお力をお借りしながらも、生徒、教職員が一丸となり、誇り高き、唐津商業高等学校を目指し、様々な仕掛けを行ってまいりたいと考えています。

定時制課程は、30名（商業科）が学んでおります。義務教育において不

最後になりましたが、若桐同窓生の皆様のますますの御健勝と御活躍を心より祈念しております。

関西支部

## 「若桐同窓会関西支部」

森 茂  
商高5回卒

コロナも収まり3年振りの第94回同窓会を実施致しました。参加者は本部より毛利会長他副会長3名の4名、会員28名計32名でした。新しく参加いただいた方や常々参加いただいた方の不参加など様々な、近況でした。進行は集合写真に始まり、会長の山岡さんの挨拶、本部役員の挨拶など順を追って進み懇親会の始まりです。乾杯の音頭は昭和34年卒業の伊藤徹男様に始まり、楽しい会食。3年分の思いを吐き出して和気あいあいと進み、ハズレ無しのビンゴゲーム、大もあれば小もある、これがゲームの面白いところ。少し時間を取りショートタイム、当時NHKで放映されたブキウギの「元OSK日本歌謡団」所属杉本まゆみさんの張りのある歌声の披露、拍手喝采、その後2、3人デュエットタイム喜色満面「良かった、嬉しか」等言っておられました。最後はいつもの校

歌、応援歌、高校三年生を高らかに歌い、中締め音頭は昭和40年卒業中山利則様にやっていたいただき、又、来年も元氣◎に会う約束をして閉会となりました。二次会はいつもの寿司から津で行いました。

\*参加賞は大原松露饅頭でした。



### 「第65回総会の開催」

関東支部

令和元年の第61回総会以降、新型コロナウイルス禍により、令和2年の第62回から令和4年の第64回の間中止を余儀なくされた同窓会活動は、4年ぶりとなる令和5年10月21日、パセラリゾーツAKIB Aに、本部の毛利会長・杉原副会長の出席を賜り、他支部からの特別参加、特に沖縄居住の松尾保氏の空路による遠距離参加を頂き、開催することが出来ました。

総会出席の常連だった数名が事前あるいは、当日に体調不良等により欠席された等、参加者は決して多くはありませんでしたが、45名の出席者で盛会に行うことが出来ました。

総会第一部の役員改選では、全員が再任すること出席者の賛同が得られました。

東支部会長は、これからの2年間頑張つて役職に励んでまいります。現役員も高齢化が進んでまいりましたので、若い皆様にも執行部への参加をお願いします。と挨拶されました。

総会から懇親会となり、昭和39年卒業の武田尚史氏が声高々に「乾杯」の発声で会食となり、会場は一気に賑やかな宴会モードと変わりました。

会食となり、4年ぶりの懇親会に会話は瞬く間にはずみ、お互いにビールの酌をしては一気に飲み干し、長かったコロナ禍のこと、その中での家庭や仕事のこと等、話題は尽きないようで、どの席でも話が弾んでいました。

例年では、盛り上がり始まるの頃に、日本舞踊を披露して頂いていた勝見修子氏、更には、マジックや芸能ショーを披露し



て頂いていた大西慶和氏も体調を崩して欠席され、残念の一言につきましました。

唐津特産の景品を数多く準備した抽選会は、例年同様に好評で、その後のカラオケでは自慢の一曲を披露して満足の顔々々、最後は定番の校歌・応援歌の合唱で、ひさびさの懇親会も賑やかに閉会しました。

未尾になりましたが、悲しいお知らせです。

現東京若桐同窓会の東清二会長（昭和34年卒業）が、今年5月に永眠されました。

東様は、長期間監査役など支部活動を積極的に支えていただき、平成29年の第59回総会で第9代支部会長に就任され、母校を愛し、同窓会の活性化、同窓会の将来に向けて活動を続けられました。

今後次期役員改選までの間、中村純久副会長が会長代行します。

吉田 広信  
商高4回卒

### 「同窓会は 幸せな時間」

福岡支部

新型コロナウイルスの影響により、3年間、実施を見送っていた福岡支部懇親会の実施の可否をめぐり、役員会、学年幹事会において意見の交換を重ねたところ、「実施すべし」が多数を占める結果となりました。その後は日時や会場の選定等の作業に追われましたが、各学年幹事の方々のご尽力、ご協力のおかげで、2月25日（日）に福岡市の八仙閣本店にて、毛利会長をはじめ、校長先生、本部役員の方々のご列席をいただき総勢62名の参加を得て盛大に開催することができました。

毛利会長の挨拶では、若桐同窓会の団結と更なる発展について強い意欲を感じ、山下校長先生からは新しい視点・観点からの唐津商業高校の現状や今後の展望等、貴重な話を拝聴することができました。思い出話が尽きないなか、締めはやはり校歌と第一応援歌です。

皆が肩を組み、声を張り上げ歌いながら、それぞれに高校時代の懐かしい場面が思い出されたことでしょう。同窓会というのは本当に素晴らしい！と最も感じる時でもあります。

この贅沢な、幸せな時間をもっと多くの同窓生の方々と一緒に過ごしたいと強く願っています。来年も元気に会いしましょう！多数のご参加をお待ちしております。

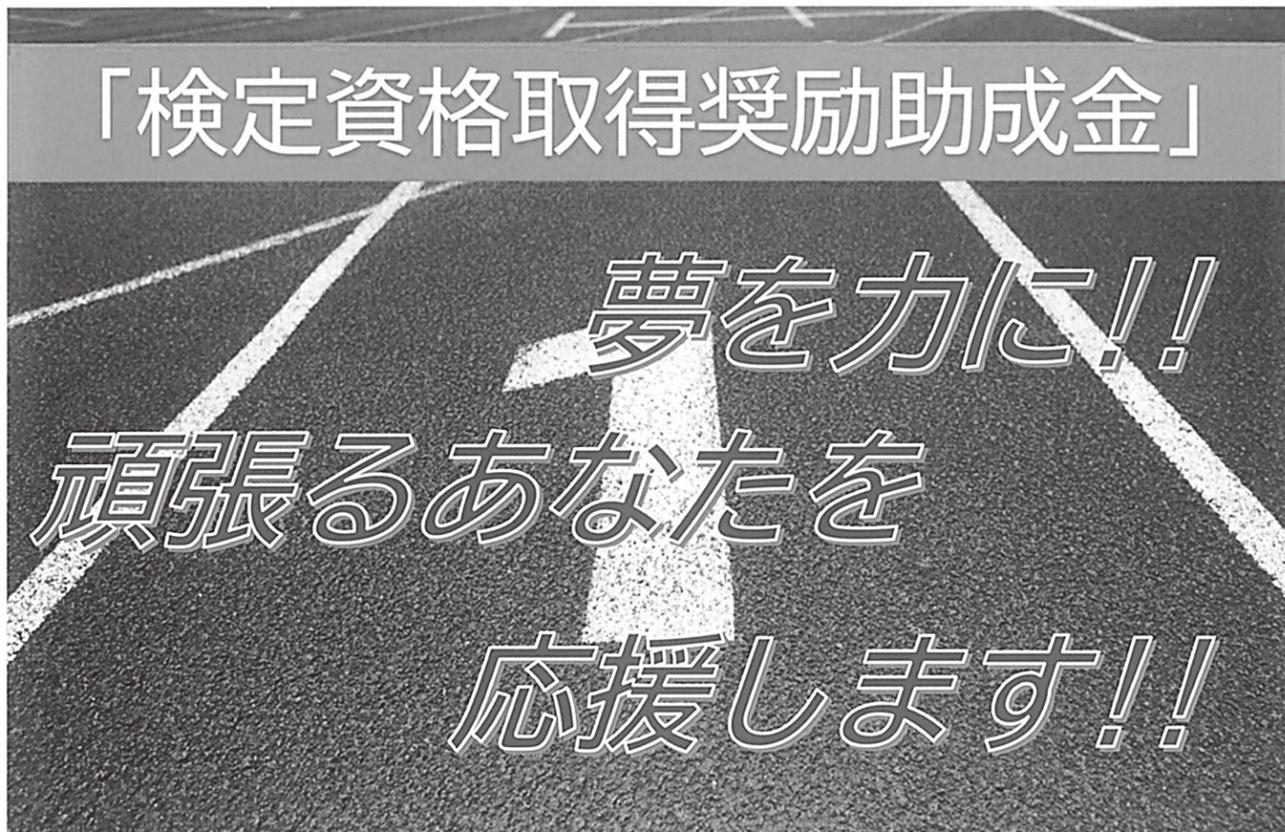
最後になりますが、今回は2時間という時間の制約のなか、非常に意義のある開催にご尽力いただいた各学年幹事の皆様から感謝申し上げます。

- 令和6年度 福岡支部役員
- 支部長 松本和典 (昭和38年 商高定 4回卒)
  - 副支部長 福島達雄 (昭和47年 商高 10回卒)
  - 事務局長 瀬戸雅生 (昭和44年 商高 7回卒)
  - 事務局 原 一博 (昭和46年 商高 9回卒)

瀬戸 雅生  
商高7回卒



# 挑戦する生徒を応援します！ 若桐同窓会



資格取得に意欲をもって挑戦する生徒を応援します。  
次の資格に合格した場合に受検料を援助します。

### 受検料の100%を助成

日本漢字能力検定 2級以上  
 実用英語技能検定 2級以上  
 日商簿記検定 1級  
 全経簿記検定 上級  
 基本情報処理技術者試験  
 韓国語能力試験 4級以上

### 受検料の50%を助成

実用英語技能検定 準2級  
 日商簿記検定 2級  
 ITパスポート  
 秘書検定 2級  
 全商検定1級3種目以上合格  
 韓国語能力試験 3級

### …… 進路に向けての取り組み ……

本校の進路支援部主催『進路講演会』の実施

講師を招いて5月28日(火)に3年生を対象として進路講演会が行われた。就職・進学に向けての面接指導をしていただき、実践も交えて面接で重要なことを学ぶことができました。



唐津商業PR動画  
配信中!



# 部活動

運動部・文化部ともに盛んに活動し、力を合わせ高い目標に向かっていきます。  
商業系の部活動もあり、難易度の高い資格取得に挑戦します。

## 体育部

水泳/バスケットボール/女子バレーボール/ソフトテニス/剣道/弓道/野球/  
女子ソフトボール/バドミントン/サッカー/卓球/総合体育部(陸上・ヨット・  
ローイング等)

## 文化部

書道/吹奏楽/情報処理/  
簿記/広報/茶道

## 令和6年度 部活動の主な成績

- 「野球部」  
4月：「九州地区高等学校野球大会」  
ベスト4
- 5月：佐賀県高等学校総合体育大会
  - ・「女子ソフトボール部」…… 第3位
  - ・「水泳部」女子総合 …… 第3位  
50m 自由形 …… 第3位  
200m 自由形 …… 第3位  
50m バタフライ …… 第3位  
100m 自由形 …… 第3位  
400m 自由形 …… 第2位  
200m 個人メドレー …… 第2位  
4×200m フリーリレー… 第3位  
4×100m フリーリレー… 第3位
  - ・「女子バレーボール部」… ベスト8
- 「簿記部」  
佐賀県高等学校簿記競技大会  
個人の部 …… 優勝 (全国大会出場)
- 「書道部」  
佐賀県高等学校席書会  
臨書の部入賞 …… 秀作：4名



### 快挙 日商簿記1級・簿記能力上級合格



前田ななせさん(玄海みらい学園出身)が、合格率約10%の難関である「日商簿記1級」の合格を果たしました。さらに、全国経理教育協会主催の「簿記能力上級」という合格率約14%の狭き門も見事突破し、「税理士試験の受験資格」を獲得しました。前田さんは、簿記部に所属しており、日々の努力が実りました。

### 快挙 第23回佐賀県高等学校生徒商業研究発表大会 最優秀賞



令和6年7月4日に開催された上記大会において、最優秀賞を獲得しました。「からつ学美舎」の地域課題の解決を調査研究するグループが中心となり発表しました。企業の製造過程でできる副産物に新たな価値を生かして商品開発を行い、「仮説→企画→実践→検証→課題」と研究内容をプレゼンテーションする点が評価されました。

# 令和5年度【一般会計】決算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

佐賀県立唐津商業高等学校  
若 桐 同 窓 会

## 収入の部

【単位：円】

項目	予算額	決算額	差引額	摘 要
1 前期繰越	8,344,713	8,344,713	0	前年度より
2 通常会費	630,000	494,000	△ 136,000	郵 2,000 × 211 名 = 422,000 直接 2,000 × 24 名 = 48,000 定卒 10,000 × 2 名 = 20,000 計 490,000 定卒 2,000 × 2 名 = 4,000
3 終身会費	100,000	0	△ 100,000	
4 生徒納入金	4,841,500	4,774,950	△ 66,550	※全日生徒納入金合計 4,808,150 ※転学、退学者分返金 △ 33,200 計 4,774,950
6 雑収入	87	83	△ 4	預金利息
合計	13,916,300	13,613,746	△ 302,554	

## 支出の部

【単位：円】

項目	予算額	決算額	差引額	摘 要
1 事業費	3,240,000	1,893,814	1,346,186	
会報印刷費	1,200,000	266,844	933,156	会報印刷・発送料
旅費	500,000	608,760	△ 108,760	会長旅費、支部総会出席旅費
渉外費	500,000	213,767	286,233	支部総会寸志・歓送迎会費
運営補助費	500,000	270,000	230,000	本部・関東・関西・福岡
通信費	150,000	37,613	112,387	切手・はがき等
会議費	200,000	396,904	△ 196,904	役員会・入会式・総会会場費
雑費	120,000	47,126	72,874	残高証明書・郵便局手数料
消耗品費	50,000	52,800	△ 2,800	事務用品
印刷費	20,000	0	20,000	
2 母校後援費	700,000	712,700	△ 12,700	全国大会・九州大会餞別等、検定資格取得助成金
3 慶弔費	200,000	113,135	86,865	
慶弔費	100,000	41,140	58,860	香典他
記念品料	100,000	71,995	28,005	卒業記念品
4 名簿印刷費	0	0	0	
5 記念事業基金	500,000	500,000	0	記念事業会計へ
6 一般会計積立金	2,460,000	2,340,000	120,000	終身会費を一般会計積立金会計へ
7 若桐会館運営費会計へ	505,200	500,400	4,800	全日 1,200 × 417 名 = 500,400
8 会館改修積立金会計へ	1,389,300	1,376,100	13,200	全日 3,300 × 417 名 = 1,376,100
9 予備費	4,921,800	0	4,921,800	
合計	13,916,300	7,436,149	6,480,151	

収入金額 (13,613,746) - 支出金額 (7,436,149) = 次期繰越 (6,177,597)

○卒業生の進路（過去5か年間）

※進学就職者は進学を含む

Table with columns: 項目 (Graduation Year, Discipline, Gender), 卒業生数 (Number of Graduates), 進学者 (University, Short University, Specialized School), 就職者 (Employed), 自営業家事手伝 (Self-employed/Home help), その他 (Others).

令和5年度の進路状況

進学先一覧

Table listing 23 schools with columns: No., 学校名 (School Name), 男 (Male), 女 (Female).

就職状況

I・卒業生の業種別人数

Table showing job types and counts by gender and full-time status.

II・地区別就職先

Table showing job locations by region and gender.

III・企業名

- List of companies including 杉孝, トヨタ自動車, ファインスタッフ, 九州旅客鉄道, etc.

# インターネットショッピングモール 「からつ学美舎」は16年目を迎えました。

「からつ学美舎」は社長をはじめ、社員すべてが高校生。令和6年度は16代目の社員たちが運営を担っています。インターネットによる活動だけでなく、県内外にて販売実習を行ったり、オリジナル商品を開発したりと、活動の場を広げています。本校生が開発したオリジナルブランド「松ゆるる」シリーズが唐津市ふるさと納税のお礼の品としても採用されるなど、本校生の活動が高く評価されています。

## 。 企業理念 。

Statement : 想像を超え、新たな挑戦へ

Mission : 誠実さと品格を持って、様々な事に挑戦し、人々に活力と笑顔を提供します。

Value : 地元の人々との繋がり 伝統の継承と新たな発展 地元高校生の活力

Principle : 「凡事徹底」「常に挑戦し、進みます」「目配り、気配り、心配り」

「地元に誇りを持ち、誠実さを持って行動します。」



16代目「からつ学美舎」幹部



オリジナル商品の  
美味eatドレッシング1本450円



高校生の運営する  
ショッピングモール

URL <http://karatsu.manabiya.co.jp>

E-mail [karatsu@manabiya.co.jp](mailto:karatsu@manabiya.co.jp)

★現在、新商品を開発中です。乞うご期待ください！

からつ学美舎

検索

Click here !

QRコード

